

2014年3月期 9月度 月次売上概況(速報)についてのお知らせ

国内	商品別売上高 既存店前年比(%)	12年9月	13年4月	13年5月	13年6月	13年7月	13年8月	13年9月	13年10月	13年11月	13年12月	14年1月	14年2月	14年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
カー用品（車検含む）		-1.4	-14.1	-8.8	-9.3	-11.7	-5.6	-8.8							-9.9	-10.9	-8.8			-9.9	
サービス	5.1	-4.3	-1.7	-0.2	-2.5	0.9	-1.1								-1.6	-2.2	-1.0			-1.6	
車検・整備	7.5	7.0	2.0	6.0	4.1	6.1	1.2								4.3	4.9	3.7			4.3	
タイヤ	1.0	-14.5	-9.0	-4.6	-10.6	-0.4	-4.4								-7.8	-10.1	-5.3			-7.8	
ホイール	10.9	-18.5	-11.8	-12.3	-16.0	-12.9	-8.9								-14.1	-15.1	-12.9			-14.1	
カーエレクトロニクス	-13.7	-29.2	-20.0	-27.3	-26.2	-19.9	-21.0								-24.4	-26.0	-22.8			-24.4	
オイル	-0.2	-4.3	-4.1	-1.1	-0.8	0.8	-5.0								-2.4	-3.2	-1.5			-2.4	
バッテリー	-3.4	-6.9	-3.5	0.4	-3.0	1.8	-5.3								-2.6	-3.5	-2.0			-2.6	
メンテナンス	-4.4	-12.9	-10.4	-6.0	-11.1	-6.7	-8.6								-9.5	-10.0	-8.8			-9.5	
アクセサリー	8.9	-11.1	-4.5	-4.5	-7.8	-3.9	-10.8								-7.1	-6.9	-7.3			-7.1	
カーリペア	-4.7	-7.9	-4.8	-0.1	-4.0	0.2	1.5								-2.9	-4.6	-0.9			-2.9	
カースポーツ	1.6	-9.2	-11.8	-10.3	-11.1	-8.7	-12.2								-10.5	-10.4	-10.7			-10.5	
カーレジャー	-2.5	-13.9	-17.0	-8.2	-13.8	-14.8	-31.8								-16.5	-13.2	-19.2			-16.5	
モーターサイクル	24.9	-9.6	-2.5	17.5	-1.0	-10.2	1.1								-0.9	1.4	-3.3			-0.9	
新車・中古車	-4.6	23.4	22.0	3.9	5.2	30.7	30.1								18.7	15.5	21.6			18.7	
中古カー用品	-19.7	-26.2	-22.5	-21.5	-23.6	-13.7	-23.6								-22.2	-23.6	-20.7			-22.2	
燃料	17.0	30.3	14.3	19.2	14.8	19.9	9.8								17.5	20.9	14.9			17.5	

国内業態別店舗売上高 前年比（主要2業態、既存店）

オートバックス	前年比 (%)	-1.7	-14.5	-8.5	-8.9	-11.8	-5.4	-8.2							-9.8	-10.9	-8.6			-9.8	
スーパー・オートバックス	前年比 (%)	-0.8	-13.2	-9.3	-10.3	-11.3	-6.3	-10.3							-10.2	-11.1	-9.4			-10.2	
海外店舗売上高 前年比 (全店) (%)	0.0	-4.4	-4.2	-7.7	-6.6	-3.7	-9.1								-5.9	-5.5	-6.3			-5.9	

2013年9月度

(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月比売上は既存店ベースで▲5.7%、全店ベースで▲3.5%。売上増減要素:①ナビゲーションの単価下落および販売数量が減少。②前年の新車販売好調に伴う関連需要増の反動によりアクセサリー・カースポーツの売上が減少。③車販売は前月に引き続き、小走り台数、買取り台数共に伸長し、売上が増加。

【商品別】タイヤ・ホイール：タイヤは低燃費タイヤや一部降雪エリアにおけるスタッドレスタイヤ早期販売が好調だったが、低価格帯商品の販売が伸び悩み、全体では前年割れ。ホイールは大口径サイズの不振が続くが、軽自動車・コンパクトカー向けが好調だったことにより、数量は前年実績を上回った。カーリングストラクス：オビゲーション（据え置き型）ボータブルとともに前年と比較し販売単価が下落し、数量ベースにおいても減少。バッテリー：品揃えを強化した外国車用バッテリーは好調に推移したが、全体では数量・金額ともに前年割れ。

数量は前年実績を上回った。一方、エレクトロニクス、アパレル、ショコラなどに前年比比較で販売半減幅が広げ、数量、ベニスにおいても減少。ハーフイヤー、前半期で堅出した日本軍需・ソフテルは、年内調査で上位に位置したが、全体では前年割れとなる。

カーリペア：コート剤や清掃用品が好調で前年比プラス。夏玉商が続いたことはあり、ガラス撥水剤は好調に推移した。カースポーツ：引き続き前年の新車販売好調の反動により売上減少。

サービス: 前日に引き続き金庫・塗装やボディーコーティング・内装・車両整備は数日で前年を下回る。会員額は前年比プラス(全店ベースで台)。

車販売：新車販売、中古車販売ともに前年実績を大幅に上回った。また引き続き買取り台数が伸び、販売も好調に推移。今季ベースでは台数前年比+29.3%、金額前年比+30.7%。

年版前、新規販売、日本車販売に占める前半年度と八幅にて上回る。また、販売台数が伸びて来年も同様の傾向が見込まれる。一方で、八月は前年比で25.5%、並額前年比で30.1%。

9月末　国内店舗数：562店舗（オートバックス469、スーパーオートバックス75、オートバックスセコハン市場12、オートバックスエクスプレス6）

・こちらのデータはフランチャイズ加盟法人の運営する店舗を含むオートバックスグループの小売売上であり、当社連結および単独の売上高とは異なり、会計監査人による監査は受けしておりません。

・最新データにつきましては、速報値となっています。尚、過去に遡って調整が入る場合もございます。

・「全業態」は、スーパー・オートバックス、オートバックス、オートバックススカース、オートバックスセヨハム市場、オートバックスエクスプレスです。

- ・「カー用品」には、セコバン市場やオートハックスエクスプレスで一部販売している新品のカー用品も含まれています。

2013年4月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月比売上は既存店ベースで▲12.2%、全店ベースで▲10.0%。売上増減要素:①土日祝日数、前年比で1日減、②地域的な気温の低下や前年の新車販売好調に伴うカー用品の需要増の反動が全体的に影響、③前月のタイヤ・ホイール履き替えの前倒しによる反動、④引き続き単価下落により、カーナビゲーションの売上が減少。	
【商品別】 タイヤ・ホイール: 新聞広告等の全国販促を実施したが、3月度に冬タイヤから夏タイヤへの履き替えが進んだ反動や天候不順などにより、数量・金額とも大幅に落ち込む(ホイールも同様)。	
カーエレクトロニクス: 昨年の新車販売好調に伴う需要増の反動と単価下落による前年割れが継続。 オイル: キャンペーンを実施したことにより、他商品群と比べ堅調。	
バッテリー: 全体の数量が伸び悩むが、高性能バッテリーは好調に推移。 アクセサリー: 昨年の新車販売好調により伸長したインテリア・レーダー探知機・車内用品等の前年割れが続く。 カーリペア: 洗車用品全体が伸び悩むなか、コート剤が好調に推移。	
サービス: ナビゲーション取付工賃、タイヤ・ホイール交換工賃が低調であったが、車検・整備、板金は引き続き堅調(全店ベースで台数前年比+7.8%、金額前年比+8.4%)。	
車販売: 新車販売、中古車販売とともに好調。また買取査定新システム導入により、査定件数、成約件数ともに増加し業販も伸長。全店ベースでは台数前年比+18.7%、金額は前年比+22.9%。	

2013年5月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月比売上は既存店ベースで▲6.9%、全店ベースで▲4.6%。売上増減要素:①4月度に引き続いてタイヤ・ホイール売上が伸び悩み、②単価下落により、カーナビゲーションの売上が減少し、③前年の新車販売好調に伴う関連需要増の反動により、カー用品全般の売上が減少。	
【商品別】 タイヤ・ホイール: 前半は販促効果もあり好調に推移したが、中旬以降は数量・金額ともに伸び悩み前年割れとなる。低燃費タイヤの需要が伸びる一方で、低価格帯商品が不調だった。ホイールは軽自動車向けが伸びたが大口径サイズが落ち込む。単価下落も進み大きく前年割れとなる。	
カーエレクトロニクス: 据え置き型ナビについては、単価下落による前年割れが続いている。PNDに関しては単価下落は継続しているが、新製品の売上が好調だったことにより、数量ベースで14ヵ月ぶりに前年を上回った。	
オイル: 前月に引き続きキャンペーンを実施。前半は売上を伸ばしたが後半に向けて失速し、前年割れとなる。 バッテリー: 高性能バッテリーが好調に推移しており、前年比のマイナス幅が縮小。	
アクセサリー: 昨年の新車販売増で需要が伸びた車内用品を中心に前年割れとなる。一方、スマホ関連商品や日除け類は好調。 カーリペア: 洗車関連が引き続き不調だったことにより前年割れ。一方、手軽なタイプのコート剤が好調。	
サービス: 引き続きナビゲーション取付工賃、タイヤ・ホイール交換工賃が低調だったが、ボディコーティングなどの需要が拡大している。車検・整備は数量ベースでは若干の前年割れだったが、金額ベースでは堅調(全店ベースで台数前年比▲0.5%、金額前年比+3.5%)。	
車販売: 昨年のエコカー補助金の影響で新車販売は前年割れ、中古車販売が好調で小売全体をカバー。また前月に引き続き査定件数、成約件数ともに大幅に増加し業販も伸長。全店ベースでは台数前年比+18.6%、金額前年比+22.1%。	

2013年6月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月比売上は既存店ベースで▲8.2%、全店ベースで▲6.3%。売上増減要素:①引き続き単価下落により、カーナビゲーションの売上が減少し、②前年の新車販売好調に伴う関連需要増の反動により、スポーツ・アクセサリーなどの売上が減少。③タイヤは低燃費タイヤの好調や、北海道における冬タイヤからの履き替え需要により、前年実績に対するマイナス幅が前月から縮小。	
【商品別】 タイヤ・ホイール: タイヤは低価格帯商品の不振が継続し前年割れだったが、売れ筋商品である低燃費タイヤのキャンペーンを全店で実施したこと、また北海道エリアでは遅れていた冬タイヤから夏タイヤへの履き替えが発生したことなどにより、数量・金額ともに回復傾向。	
ホイール: 販促効果などもあり低価格帯商品が伸びたが、高価格帯商品が落ち込み前年割れ。 カーエレクトロニクス: ナビゲーションの単価下落が依然として続いている前年割れ。	
オイル: 販売促進を強化した低価格帯商品が好調だったことに加え、タイヤとの連帶販売を強化した結果、金額ベースで前年実績に対するマイナス幅が縮小。 バッテリー: 高性能バッテリーが好調に推移し、数量・金額ともに前年実績クリア。	
メンテナンス: 前年は新車販売好調により伸長したインバーター、安全用品などの商品が不調だったが、前年割れが続いているワイヤーが降水量の増加とともに回復。	
アクセサリー: 前年の新車販売の好調により需要が伸びたレーダー探知機、インテリア関連商品などが前年割れ。一方、引き続きスマートフォン関連商品や日除け類は好調。 カーリペア: 全体では前年割れだが、手軽なタイプのコート剤、清掃用品は引き続き好調。	
サービス: ナビゲーション取付工賃は引き続き低調だが、一部エリアでの履き替え需要などにより、タイヤ・ホイール交換工賃は件数・金額ともに前年比でプラス。また引き続きボディコーティングなどの需要が拡大。車検・整備は数量・金額ともに増加(全店ベースで台数前年比+5.8%、金額前年比+7.3%)。	
車販売: 前年のエコカー補助金効果の反動もあり新車販売は低調。一方で前月同様に中古車販売が好調で小売全体は伸長。また査定件数、成約件数とも引き続き伸長し、業販も好調。全店ベースでは台数前年比+5.5%、金額前年比+3.3%。	

2013年7月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月比売上は既存店ベースで▲10.4%、全店ベースで▲8.6%。売上増減要素:①土日祝日数、前年比で1日減、②引き続き数量と単価下落により、カーナビゲーションの売上が減少。③タイヤは低燃費タイヤが好調だったものの、④前年の新車販売好調に伴う関連需要増の反動により、アクセサリー・カースポーツなどの売上が減少。	
【商品別】 タイヤ・ホイール: タイヤは販促を強化した低価格帯PBタイヤが数量・金額ともに伸長。また低燃費タイヤも引き続き好調だったが、全体では数量・金額ともに前年割れとなる。ホイールは高価格帯商品の売上げダウンが著しく、前年割れ。	
カーエレクトロニクス: ナビゲーションの数量および単価下落が依然として続いている前年割れ。 オイル: 販売促進を強化した低価格帯商品が好調だったことに加え、タイヤとの連帶販売を強化した結果、数量ベースで前年実績をクリアした。	
バッテリー: 引き続き高性能バッテリーが好調に推移したことにより、商品単価は伸長したが、全体では数量・金額ともに前年割れ。	
アクセサリー: 新車販売の好調により、前年は需要が伸びた車内アクセサリー、インテリア関連商品が反動で低調。ただし芳香剤では販売促進を強化したエアコン吹き出し口取付タイプの商品が好調に推移し、数量ベースで前年実績をクリア。	
カーリペア: 全体では前年割れだが、手軽なタイプのコート剤、清掃用品は引き続き好調。 カースポーツ: 引き続き前年の新車販売好調の反動は見られるが、店頭イベント実施店舗を中心にスポーツシート、マフラー等の高額商品の売上がり回復。	
サービス: ナビゲーション取付工賃が引き続き低調だったことにより、サービス全体の売上は下落したが、ボディコーティング、車内消臭などのサービスメニューの需要は拡大。車検・整備は数量・金額ともに堅調に推移(全店ベースで台数前年比+2.5%、金額前年比+5.3%)。	
車販売: 前年のエコカー補助金効果の反動もあり新車販売の低調は続いているが、中古車販売が好調で小売全体は伸長。また査定件数、成約件数とも引き続き伸長し、業販も好調。全店ベースでは台数前年比+7.4%、金額前年比+5.0%。	

2013年8月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月比売上は既存店ベースで▲3.4%、全店ベースで▲1.5%。売上増減要素:①タイヤ売上は低燃費タイヤの好調により回復傾向。②カーナビゲーションはPNDが回復傾向だが、全体としては単価下落の影響大。③前年の新車販売好調に伴う関連需要増の反動によりアクセサリー・カースポーツは売上減。④車販売は特に買取り台数が伸長したことにより売上増加。	
【商品別】 タイヤ・ホイール: タイヤは低価格帯商品の販売数量が伸び悩んだが、低燃費タイヤが引き続き好調で、前年実績に対するマイナス幅は大きく縮小。全店ベースでは数量・金額ともに前年実績を上回った。ただしホイールは大口径サイズの売上減少が著しく前年割れ。	
カーエレクトロニクス: ポータブルナビは単価下落が継続しているものの、数量ベースで前年実績をクリア。据え置き型ナビについては数量および単価下落が依然として続いている。 オイル: 前月に引き続き単価の高い商品が好調だったことにより、前年比でプラスとなった。	
バッテリー: 高性能バッテリーが好調だったことにより商品単価が上昇し、前年実績を上回る。 メンテナンス: ルーフボックスなどのキャリア関連商品やワイヤーなどが好調だったが、補修部品がふるわらず、全体では前年割れ。	
アクセサリー: 芳香剤が好調だったが、前年に新車販売の好調で需要が伸びたレーダー探知機、インテリア関連商品の売上が減少し、全体でも前年割れとなる。 カーリペア: 好天が続いたこともあり、手軽なタイプのコート剤、清掃用品が好調に推移し、前年実績を上回る。	
カースポーツ: 引き続き前年の新車販売好調の反動により全体の売上は減少したが、前月同様に店頭イベントを実施した店舗を中心にスポーツシート、マフラー等の売上は伸長した。	
サービス: 引き続きナビゲーション取付工賃は低調だったが、タイヤ交換工賃は回復傾向。また板金・塗装やボディコーティング、車内消臭などのサービスメニュー売上が拡大。車検・整備は数量・金額ともに堅調(全店ベースで台数前年比+4.9%、金額前年比+7.4%)。	
車販売: 中古車販売の好調が継続し、新車販売も前年実績を上回った。また買取り台数が伸長し業販も好調に推移。全店ベースでは台数前年比+22.1%、金額前年比+30.6%。	